

人との出会いを大切に！

2月26日、やまぶき会館で北京オリンピック競泳メダリスト・宮下純一みやしたじゅんいちさんを講師に向かえ、スポーツ講演会が開催されました。テーマは「出会いに感謝～思ひ続けたオリンピック～」。

当日は、宮下さんご自身の経験を交えた講演が行われました。小さいころは大の水嫌いだったこと。中学時代に水泳をやめたいと思ったが、恩師の言葉に救われたことなどを話してくれました。お客さんに質問をしたり軽快なトークで笑いを誘ったりと会場は終始アットホームな雰囲気。「出会いは財産」と話す宮下さん。講演会の最後に、参加していた加藤心暖かとうしんぬるくん



エピソードを交えた講演をする宮下純一さん



宮下さんの質問に笑顔で答える心暖くん

ホームな雰囲気。「出会いは財産」と話す宮下さん。講演会の最後に、参加していた加藤心暖くんかとうしんぬるに夢を聞くと「オリンピックに出たい!」。今回の出会いが大切な財産となったのではないのでしょうか。

音で奏でる火の用心



3月5日、川越地区消防組合消防音楽隊による定期演奏会がウエスタ川越大ホールで行われました。消防音楽隊は、平成13年4月に市民の防災意識の普及や啓発を目的に発足し、今年で16年目を迎えます。



昨年ブームになった「恋ダンス」。動きもキレイ。さすが消防職員!

演奏会では、テレビドラマの主題歌「恋」や「アンパンマンのマーチ」「演歌メドレー」などが披露され、大人からお子さんまで大喜び。また、消防に関する演出やダンスも行われ、会場からは多くの笑い声と拍手が湧き起こりました。

ひとまち

ふおとニュース

ひとまち

大正時代にタイムスリップ

3月25日、旧山崎家別邸(松江町2丁目)一般公開開始1周年を記念して、母屋2階が特別公開されました。同別邸は、老舗菓子屋「亀屋」の5代目・山崎嘉七やまざきかきちの隠居所として大正14年に建てられました。設計は埼玉りそな銀行川越支店も設計した保岡勝也やまおかかつやによるものです。

今回、初めて訪れた八巻綾子やまきあやこさんは「大正時代に建築された建物が今もこんな形で残っているなんて感激しました」と興味津々の様子。また、お子さんと見学に来た松島優子まつしまゆうこさんは「子どもが2階を見たいと言ったので来ました。喜んでいたのでよかったです」と笑顔で話してくれました。

建物は市の指定文化財、庭園は国登録記念物名勝地となっている別邸。1階と庭園は一般公開(要入場料。一般=100円)を行っています。皆さんも足を運んで大正時代を肌で感じてみてはいかがでしょうか。



庭園は国登録記念物名勝地



特別公開された2階の寝室



ガイドから和室の説明を受ける見学者(2階和室にて)



階段上から見たステンドグラス